

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

40代の女性でやさしそうな方でした。

2. 通訳ガイド

50代男性で早口でした。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

日本の城は…領主と家臣は城の下の方に住んでいた。天守閣は権力の象徴であった。

《自分の解答》

試験官の読むスピードが早くて書き留めるのに追われて、訳そうと思った時は自分の字が読めなかった。前半は何を聞いたか忘れていた。覚えていた後半のみ訳した。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

① 日本の災害と復興について

② ?

③ 風鈴について

《選択したトピック》

『風鈴について』

《発表した内容》

Furin is a hanging bell made of metal, glass and (間違えた) porcelain. It is hung on the eaves of Japanese houses.

Underneath of Furin, a slip of paper is attached, and when it catches a breeze, it rings, “チリン、チリン” すぐに言い終えてしまったので、夏の風物に fans, folding fans, yukata-summer evening casual kimono, fire displays 等がある。Folding fans は日本の発明で、オランダの東インド会社を通じてヨーロッパへ輸出されました。夏にはお祭がたくさんあって店で風鈴がたくさん売られています。(露店が分からなかったので shop と言ってしまった。)

5. 質疑応答について

NS	風鈴はどの位の大きさですか？
I	手で形作ったら(this size)理解されたようだった。

NS	あなたは外に風鈴をぶら下げますか？
I	日本のいわゆるマンションに住んでいるので出来ません。
NS	夏が終わったら、風鈴は take away するのですか？
I	We are expected to take away furin but some do not. They are reproached by the neighbors.
NS	夏が終わっても取りはずさないことに文句を言われるのですか？
I	Because of the noise.
NS	あなたの夏の風物で使うものは何ですか？
I	I use a folding fan and wear yukata when I go summer festivals.

6. 試験を終えての感想

英訳では適当に知っていることをしゃべればよかったと後悔しきりでした。

2分間プレゼンテーションでは英作文でやったからとすぐに『風鈴について』を選んでしまってスピーチもすぐに終わってしまって正直あせりました。

風鈴の音は蒸し暑い日本の夏を涼しく感じさせてくれる等、他にも言える事はあったのにと後から反省。

マイナーな事ではないと思っていたので日本の災害については、あまり勉強していなかったので選択しなかったが、こちらの方がもっとたくさん言えたのにと、これも後悔しきり。あっ、落ちたと思いましたが、にこやかに挨拶して帰りました。